

## 平成26年 電気化学会北陸支部春季（富山）大会 プログラム

会期：2014年5月15日（木）、16日（金）

会場：湯神子（ゆのみこ）温泉（中新川郡上市町湯神子25）

シンポジウムタイトル：「材料表面改質の新しい電気化学的アプローチ」

《日程》

第1日目(木)	15:30～	受付	
	17:00～18:00	個別ディスカッション	
	18:00～20:00	情報交換会	
	21:00～24:00	シンポジウム第1部（若手の会・夜なべ談義） 1. 福井大学大学院工学研究科 講師 金 在虎 先生 「フッ素ガスを用いたセラミックス材料表面改質とその特性評価」 2. 夜なべ談義（北陸支部恒例企画）	
第2日目（金）	9:30～12:00	シンポジウム第2部（特別講演会） 1. 富山大学水素同位体科学研究センター 教授 阿部 孝之 先生 「ドライプロセスを用いた微粒子表面の新たな修飾・改質法」 2. 富山大学工学部材料機能工学科 教授 佐伯 淳 先生 「水溶液中でのパルス電場アシストによるセラミックス薄膜の作製」 3. 北陸電気工業（株）CT開発本部長 小川 明夫 氏 「MEMS技術とソーシャルデバイスの変化」	
		12:00～13:00	幹事会（幹事のみ）
		13:20～14:00	バス移動（送迎バス利用の方）
		14:00	富山駅解散（送迎バス利用の方）

○新潟方面 富山駅発 14:35 発（特急北越5号(新潟行)）

→長岡着 16:26、新潟着 17:20

○金沢・福井方面 富山駅発 14:19 発（特急サンダーバード30号(大阪行)）

→金沢着 14:55、福井着 15:42

平成 27 年 5 月 21 日

平成 26 年度電気化学会北陸支部春季大会ならびに講演会記録

電気化学会北陸支部

「若手の会」および「夜なべ談義」（参加者 20 名）

日時：5 月 15 日（木）21：00～23：00

場所 湯神子温泉（中新川郡上市町湯神子 25）

1. 「フッ素ガスを用いたセラミックス材料表面改質とその特性評価」

福井大学大学院工学研究科 講師 金 在虎 先生

研究紹介および質疑応答、また、講演内容を通じて参加者の親睦と学術・技術交流を深める目的で、福井大学の金先生に講演して頂いた。フッ素ガスを用いたセラミックス材料表面改質とその特性評価について、新しい知見を披露して頂いた。たいへん活発な論議が展開され、有意義な会となった。これからも、若い先生方、また「若い」と思っておられる大先生方に、より多くご参加頂き、この学術交流会を盛り上げるとともに、若手研究者の育成を図っていききたい。

講演会（参加者 22 名）

日時：5 月 16 日（金）9：30～12：00

場所：湯神子温泉（中新川郡上市町湯神子 25）

1. 「ドライプロセスを用いた微粒子表面の新たな修飾・改質法」

富山大学水素同位体科学研究センター 教授 阿部 孝之 先生

2. 「水溶液中でのパルス電場アシストによるセラミックス薄膜の作製」

富山大学工学部材料機能工学科 教授 佐伯 淳 先生

3. 「MEMS 技術とソーシャルデバイスの変化」

北陸電気工業（株）CT開発本部長 小川 明夫 氏

最初に、富山大学水素同位体科学研究センター教授 阿部 孝之 先生より、ドライプロセスを用いた微粒子表面の新たな修飾・改質法についてご講演を頂いた。バレルスパッタ法やバレルCVD法による微粒子表面のコーディングや改質による高機能化について新規で多彩な研究結果を発表して頂いた。

次に、富山大学工学部材料機能工学科 教授 佐伯 淳 先生より水溶液中でのパルス電場アシストによるセラミックス薄膜の作製について、パルスを上乗せした電場印加による、均一な孔径のポアをもつアルマイト薄膜の作成、および簡便なイットリウム安定化ジルコニアの作製法について、さらには、電解析出のための電解と垂直方向へのパルス電場の印加による一定線幅のライン状電析が行えるというたいへん興味深いお話を伺った。

最後に、北陸電気工業（株）コアテクノロジー開発本部長 小川 明夫 様より、「MEMS 技術とソーシャルデバイスの変化」と題して、現状でのMEMS開発と利用状況について、また、今後の展開・見通しについてご講演頂いた。

各講演ともたいへん活発な質疑応答が交わされ、講演会は盛会裏に終了した。

以上

## 電気化学会北陸支部 幹事会議事録

日時： 平成 26 年 5 月 16 日（金）12：15～13：20

場所： 湯神子温泉（中新川郡上市町湯神子 25）

出席者：（支部長）篠原、（顧問）梅田、高橋、（幹事）山内、坂井、松原、釜土、石川、山口、綿井、宇野、米沢、金、阿部、鈴木（以上、敬称略）

### 議題・報告

#### （1）本会より支部関連事項の報告

##### ① 支部等事業費（活動資金）若手研究者の支援について

例年通り支部事業費 38 万円及び若手研究者交流会等の支援 5 万円を申請し、いずれも入金済みとの報告が鈴木会計幹事よりあった。

##### ② 通常総会、理事会、支部長会の報告

阿部理事より本部理事会の報告があり、秋季大会（北大）より実施される予定だった要旨集の電子化が春季大会（横国大）から延期されたこと、またその際できるだけ全員予約登録をしてほしいとの要請があったことが報告された。また篠原支部長より支部長会の報告があり、若手研究者の国際交流支援（推薦時期 5 月初旬。詳細は本会事務局へ確認のこと）についての連絡や、ECS 日本支部の若手支援（5 万円）が今年から日本支部へ直接申請する形になり領収書等の正確な提出が求められるようになることなどの説明があった。

#### （2）平成 26 年度支部秋季大会・産学官フォーラムについて

米沢先生、松原先生より福井県中小企業大学校において 10 月 16 日（木）、10 月 17 日（金）に北陸技術交流テクノフェアと同時開催することが報告された。1 日目は、午前中に秋季大会の一般、若手講演を行い、昼休みに幹事会、午後は産学官フォーラムとし、依頼講演、学生ポスターセッション、懇親会を行い、翌日はテクノフェア見学、企業見学を予定。産学官フォーラムについて、講師については 6 月 3 日に米沢先生、松原先生、阿部先生で相談し最終決定する。今後の予定として 7 月 3 日の業務執行理事会までにチラシ原稿（最終計画）が決まっていることが望ましく、8 月中旬までにはポスター印刷が完了している必要がある。ポスター・チラシの作成費用、講師謝礼、宣伝費、会場費などすべてを含めて予算は 60 万円。本部事務局に請求書を送って処理していただいても、60 万円を支部に送ってもらい支部で経理処理してもどちらでも良いとのことだが、鈴木会計幹事から本部で処理していただいたほうがトラブルや間違いが生じにくく良いのではとの指摘があった。

#### （3）その他

##### ① 平成 27 年度支部春季大会・秋季大会について

春季大会は石川地区で、秋季大会は新潟地区で行われることが決まった。各地区の先生方で計画を進めていただくよう依頼があった。

##### ② 常議員代表者の変更について

日本曹達株式会社 二本木工場 樋口 治雄 様から 塚村 聡 様に変更された旨、支部長より報告があった。

##### ③ 関東支部「夏の学校」への学生派遣について

篠原支部長より、支部学生の活性化を目的として、8 月 28、29 日に八王子セミナーハウスで行われる関東支部主催の「夏の学校」へ北陸支部の学生を参加させたらどうかという提

案があった。意見交換の結果、参加費 1 万円を支部で支援する代わりに、参加学生には後日簡単な参加レポートを作成提出してもらい、支部HP掲載などの形で報告してもらうこととし、まずは今年度各県 1 名程度で 4～5 名程度派遣する試行について了承された。また阿部庶務幹事より春の支部大会に学生を積極的に参加させたらという提案があった。前向きに検討するとして、次期春季大会幹事の石川地区でどのような対応が取れるか考えることになった。

④ 北陸支部ホームページへの支援企業のリンク掲載及び予稿集等への広告掲載について  
支部常議員としての加入お願いを企業に積極的に行うに当たり、北陸支部ホームページへの支援企業のリンク掲載及び予稿集等への広告掲載を行うことが了承された。

⑤ 支部事業件数について

北陸支部の年間事業数は 3 件であるが、他の支部は少なくとも 10 件程度のところが多い。支部活動が活発でないと誤解される可能性もあるので、講演会などの支部共催・後援を積極的に増やしていくこと、ならびにその機会があれば、支部事務局へ知らせたい旨が阿部庶務幹事より提案された。

以上



平成 26 年度 (2014 年度)

電気化学会北陸支部 春季 (富山) 大会

シンポジウム第 2 部 (特別講演会)

5 月 16 日 (金) 9 : 30 ~ 12 : 00



1. 「ドライプロセスを用いた微粒子表面の新たな修飾・改質法」

富山大学 水素同位体科学研究センター 教授 阿部 孝之 先生



2. 「水溶液中でのパルス電場アシストによるセラミックス薄膜の作製」

富山大学 工学部材料機能工学科 教授 佐伯 淳 先生



3. 「MEMS技術とソーシャルデバイスの変化」

北陸電気工業株式会社 CT開発本部長 小川 明夫 氏

